



# 2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月31日

上場会社名 東り株式会社  
コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 松本 隆志

TEL 06-6494-6691

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	22,672	1.7	481	9.9	657	0.9	399	2.0
2024年3月期第1四半期	22,294	8.0	534		651		391	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 810百万円 ( 15.6%) 2024年3月期第1四半期 960百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	6.75	
2024年3月期第1四半期	6.50	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	86,108	45,616	52.6
2024年3月期	90,849	45,760	50.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 45,296百万円 2024年3月期 45,433百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		3.00		16.00	19.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		5.00		14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,500	2.3	700	46.3	800	44.7	500	42.5	8.45
通期	105,000	2.5	4,100	17.6	4,250	18.9	3,000	18.7	50.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	60,129,249 株	2024年3月期	60,129,249 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	944,277 株	2024年3月期	944,037 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	59,185,132 株	2024年3月期1Q	60,186,146 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の回復や堅調なインバウンド需要を背景に緩やかな回復基調となりました。一方、人件費・物流費の増加を背景とした物価上昇による個人消費への影響や緊迫が続く地政学リスクなどの不安材料を数多く抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、新しい働き方に対応したハイブリッドなオフィス需要の高まりや訪日外国人客数の回復による店舗・宿泊施設向け需要が持ち直す中、各種建築資材価格の高止まりや人手不足、「2024年問題」による工事進行の遅延懸念などが相俟って、事業環境は予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けて、2025年3月期を最終年度とする4ヶ年の中期経営計画『SHINKA Plus ONE』を推進しております。当期は中期経営指標の連結売上高1,000億円以上、連結営業利益40億円以上の達成を目指し、5つの重点戦略(A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築)の総仕上げを推進いたします。当第1四半期につきましては、4月にタイルカーペットリサイクル2号プラント(滋賀事業所内)が稼働し、リサイクル処理能力の増強により、産業廃棄物の大幅削減とコストダウンへの取組みが進展しつつあります。引き続き当中期経営計画における重要投資案件である、広化東リフロア新3号ライン・カーペット用ナイロン紡糸設備・タイルカーペットリサイクルプラントを活用した新製品開発にも、スピード感をもって取り組んでまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高22,672百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益481百万円(前年同期比9.9%減)、経常利益657百万円(前年同期比0.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益399百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

#### <プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、独自性や高付加価値を特長とする新製品の生産体制強化や販促活動に注力いたしました。

ビニル系床材では、非住宅市場向け需要が弱含みで推移する中、前期に続いてワックスメンテナンスが長期間不要なビニル床タイル「イークリンNW-EX」やビニル床タイル「ロイヤルシリーズ」の採用が大幅に拡大しました。また、広化東リフロア新3号ラインの投資効果として、防滑性ビニル床シート「NS-800」・単層ビニル床シート「HITOEシリーズ」が好調に推移したことにより、ビニル系床材の売上高は前年を上回りました。

カーペットでは、オフィスの在り方の変化を背景としたリニューアル需要の高まりにより、タイルカーペットリサイクルプラントを活用した環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティバック」や「GA-100シリーズ」などが好調に推移しました。また、空間環境づくりのアイデアや製品の魅力を発信する公式Instagramを活用し、住宅向けタイルカーペット「東リファブリックフロア」を中心にその認知拡大に注力するなど、カーペット全体で売上高は前年を上回りました。

壁装材では、新たな美意識をコンセプトに、上質な空間を提供する新ブランド見本帳「TOLI GRAND WALL COLLECTION」(TOLIグランウォールコレクション)を5月に発売し、素材本来の表情に日本の伝統美や現代のスタイルをかけ合わせた多彩なシリーズの壁紙に高い評価を頂きました。また、量産ビニル壁紙「VSウォール」は前年を上回り推移しましたが、住宅・非住宅向け需要が共に低調に推移し、壁装材の売上高は前年を下回りました。

カーテンでは、オーダーカーテン需要が弱含みで推移しましたが、住宅向けカーテン「フル」と教育・医療施設向けカーテン「コントラクトカーテン」の販促に注力したことにより、売上高は前年をやや上回る結果となりました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は13,801百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は835百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

#### <インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸及び工事事業では、国内建設業における時間外労働上限規制の適用や高止まりする建設コストへの対応など、生産性の向上と質の高いサービスへのニーズが高まっています。そのような中、上昇する仕入れ価格に対して販売価格への転嫁を進めつつ、東リブランド新製品を中心とするきめ細かい商品提案に注力したことで、売上高は前年を上回りました。

東璃(上海)貿易有限公司では、中国国内の不動産業界の低迷が長期化していることに加え、個人消費の本格的な回復が遅れる中、各エリア代理店への継続的なフォローや提案営業の強化により、同社の第1四半期(2024年1月～3月)売上高は前年を上回る結果となりました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は14,661百万円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益は238百万円(前年同期比48.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## &lt;資産&gt;

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,804百万円減少し、47,123百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,063百万円増加し、38,985百万円となりました。これは主に、製造設備増強に伴い機械装置及び運搬具が増加したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,741百万円減少し、86,108百万円となりました。

## &lt;負債&gt;

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ4,174百万円減少し、29,891百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ421百万円減少し、10,600百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,596百万円減少し、40,492百万円となりました。

## &lt;純資産&gt;

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ144百万円減少し、45,616百万円となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月8日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,635	6,684
受取手形及び売掛金	20,130	15,648
電子記録債権	9,014	9,128
商品及び製品	8,857	9,862
仕掛品	2,138	2,478
原材料及び貯蔵品	2,134	2,325
その他	1,072	1,046
貸倒引当金	△55	△50
流動資産合計	52,928	47,123
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,044	6,991
機械装置及び運搬具(純額)	5,427	6,162
工具、器具及び備品(純額)	1,098	992
土地	8,565	8,571
建設仮勘定	2,384	2,434
その他(純額)	86	79
有形固定資産合計	24,606	25,232
無形固定資産		
ソフトウェア	447	439
その他	228	227
無形固定資産合計	675	667
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	8,101
その他	5,287	4,998
貸倒引当金	△276	△13
投資その他の資産合計	12,639	13,085
固定資産合計	37,921	38,985
資産合計	90,849	86,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,706	15,229
電子記録債務	7,014	7,059
短期借入金	2,220	3,020
未払法人税等	1,062	95
未払費用	1,731	1,552
賞与引当金	890	250
役員賞与引当金	7	—
その他	3,432	2,684
流動負債合計	34,066	29,891
固定負債		
長期借入金	4,480	3,680
繰延税金負債	104	448
退職給付に係る負債	3,752	3,783
その他	2,684	2,689
固定負債合計	11,022	10,600
負債合計	45,088	40,492
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	4,812	4,812
利益剰余金	29,217	28,670
自己株式	△227	△227
株主資本合計	40,658	40,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,782	4,109
為替換算調整勘定	426	524
退職給付に係る調整累計額	566	551
その他の包括利益累計額合計	4,775	5,184
非支配株主持分	326	320
純資産合計	45,760	45,616
負債純資産合計	90,849	86,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	22,294	22,672
売上原価	15,742	15,992
売上総利益	6,551	6,679
販売費及び一般管理費	6,017	6,198
営業利益	534	481
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	84	97
仕入割引	19	18
保険配当金	45	48
その他	62	82
営業外収益合計	213	247
営業外費用		
支払利息	16	15
持分法による投資損失	73	41
その他	5	13
営業外費用合計	95	71
経常利益	651	657
特別損失		
固定資産除却損	1	2
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	650	655
法人税、住民税及び事業税	31	47
法人税等調整額	226	206
法人税等合計	257	253
四半期純利益	392	401
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	391	399



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	392	401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	529	326
為替換算調整勘定	41	17
退職給付に係る調整額	△3	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	—	80
その他の包括利益合計	567	409
四半期包括利益	960	810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	959	809
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	607百万円	693百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,838	14,455	22,294	—	22,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,772	60	5,833	△5,833	—
計	13,611	14,516	28,127	△5,833	22,294
セグメント利益	711	160	871	△219	651

(注) 1 セグメント利益の調整額 △219百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,158	14,514	22,672	—	22,672
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,643	147	5,790	△5,790	—
計	13,801	14,661	28,462	△5,790	22,672
セグメント利益	835	238	1,073	△416	657

(注) 1 セグメント利益の調整額 △416百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。